

# ICTを活用した学生募集への広報活動

坂本美和子<sup>†</sup>第76回国立病院総合医学会  
2022年10月7日 於 熊本

IRYO Vol. 77 No. 6 (385-388) 2023

## 要旨

国立病院機構北海道医療センター附属札幌看護学校（当校）は国立病院療養所時代の札幌市内3校を2003年に統合、総定員数240名、独法化を経て母体病院が発足した2010年より現在の体制となっている。大学全入時代、競合の多様化で専門学校は厳しい状況におかれている。

学生確保においては各校で取り組みをしているが、従前の学校説明会やオープンキャンパス、高校への訪問活動はコロナ禍で一時困難となり、ホームページ（HP）等のWebツールを利用した学生募集活動に大きくシフトした。昨今の学生は進学先の検索やオープンキャンパスに参加する際にWeb経由が常識となっている。学校の資料請求や訪問に結びつき、確実性のある学生が継続的に訪問し出願率を高めるHP制作が重要となる。競合する学校の中で、いかに魅力的な学校に見えるかが鍵となる。2022年度自校に通う学生を対象に、当校への入学を選んだ理由やよいと感じている点、HPへの意見等をアンケート調査した。本稿では、学生を確保するためのHPの作成や運営についての取り組み、ブランディングを意識した広報活動についての実践を報告し、課題を抽出した。

選ばれる学校になるためには、大学とは違った臨床の現場がそこにあることを実感させ、他校では得られないより実践的な教育が実施されていることを積極的にPRすることが大切である。また、そのことをHP等の情報通信技術（Information and Communication Technology:ICT）を通じて発信していくことが求められる。

キーワード 学生確保、ホームページ、広報活動、専門学校

## はじめに

北海道内の国立病院機構（NHO）の学校は、閉校や統合を重ね、現在は北海道医療センター附属札幌看護学校（当校）の1校のみとなっている。NHO看護師養成所として大型校になる以前からの

歴史があり、多くの卒業生を送り出してきた。NHOへの就職率も70%を超え、地域の看護師輩出へも大きく貢献している。看護学校としての歴史と道内トップクラスの偏差値を維持していることもあり、学校の知名度は高い状況にある。

教育業界に「2018年問題」という言葉があるが、

国立病院機構北海道医療センター附属札幌看護学校 <sup>†</sup>看護師  
著者連絡先：坂本美和子 国立病院機構北海道医療センター附属札幌看護学校 副学校長  
〒063-0004 北海道札幌市西区山の手4条6丁目2番22号  
e-mail : sakamoto.miwako.rq@mail.hosp.go.jp  
(2023年2月14日受付 2023年8月4日受理)

Utilizing ICT for Student Recruitment: Integrated Promotional Strategies  
Miwako Sakamoto, NHO Hokkaido Medical Center Sapporo Nursing School  
(Received Feb. 14, 2023, Accepted Aug. 4, 2023)

Key words : student recruitment, website, promotional activities, professional training college